里山から庭先まで　　麻生にヤマユリを再生させましょう

ヤマユリ通信 2014 植栽

Vol.6－2

麻生区地域課題対応事業　麻生ヤマユリ植栽普及会　H26．10．1　発行
http://www.city.kawasaki.jp/asao/category/112-10-5-2-3-5-0-0-0-0.html

◆もくじ◆

➢区の花・鉢植え講習会：ヤマユリを庭で育ててみませんか・・・・・・１
➢ヤマユリの植え付けシーズンに向けて：・・・・・・・・・・・・２
➢種まきは９月末、球根は１１月・・・・・・・・・・・・・・・３
➢７～９月普及活動便り！：今年も美しく芳しい開花に出会えました
第２回麻生ヤマユリ写真展・・・・・・・・・４

去る9月8日から19日まで、麻生ヤマユリ植栽普及会主催により第2回ヤマユリ写真展を開催いたしました。
麻生区内から80点を超える力作が集まり、入選作の絞り込みに苦慮しましたが、安藤敬さんの作品「堂の主役」（黒川の毘沙門天堂境内）が、見事、特選を射止めました。
〈評〉薮からのぞき見するヤマユリが、境内に並ぶ地蔵をバックに浮き出ている様は、里山の静寂の中に夏の日の清涼感を呼び起こしてくれます。

特選作　「堂の主役」

区の花・鉢植え講習会

「ヤマユリ」を鉢植えで育ててみませんか

「ヤマユリ」の鉢植え栽培法、球根の植え付け方、上手な管理の仕方などを一緒に実体験してみませんか。

① 日　時：11月23日（日）
開会：午後1時30分
閉会：4時（雨天決行）

② 場　所：麻生区役所会議室
および　区役所前広場

③ 定　員：30名（抽選）
※申し込みは一人一通（対象：区内在住者、在勤者、在学者）

④ 受講料：1、５００円（材料費：原種球根、鉢、用土など）

⑤ 締め切り：11月7日（金）（必着）
往復ハガキに、郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入して左記に申し込み

〒２１５－８５７０
麻生区万福寺１の５の１
麻生区役所地域振興課
「麻生ヤマユリ植栽普及会」担当
TEL：０４４－９６５－５３７０
FAX：０４４－９６５－５２０１

ヤマユリの植え付けシーズンに向けて！

◆植栽地を選定してから植え付けましょう。

ヤマユリが生育する場所は、水はけの良い斜面、生育期に木漏れ日程度の日差しがあることが最適（右写真①）。特に、夏の酷暑が避けられる日陰斜面を好みます。

区内住宅で裏斜面に茂る樹木を切り拓くと、翌年ヤマユリが芽吹き綺麗な花が咲いたとの報告を受けます。

元々、麻生区内には、ヤマユリの群落があったとか。そのような場所では、条件が整えば、休眠から目覚めて、種の保存のために芽吹くとか（研究家の話）。生命の不思議さに驚かされます。

◆継続的に生育していくためには、草刈り管理等が必須です。

春3月の芽吹きに始まり、4、5月と順次、茎丈も伸び1㍍以上になります。周りの雑草やつる草もそれ以上に伸びますので、7月の開花前には、雑草の膝上での刈り込みは欠かせません。

アブラムシに罹患した株には、早めに殺虫剤を散布します。

9月～10月には、11月の球根の植え付けに備えて、下草刈りを行い（右写真）、刈り取った草は、掻き集めて処分します。

◆11月、いよいよ球根の植え付け

翌年の7月の美しい開花期に向けての活動が本格スタートします。中には、球根は春に植え付けると、思われる方もいるようですが、病気などにかかり順調に育ちません。ヤマユリの球根の植え付けは“晩秋”と覚えておいてください。

①球根の植え付け場所は、傾斜面で雨水の径水路を避けて選定します。

②植え付け年が判別できるように、名札を付けた支柱を立てます。

③支柱の側に深さ20cm程度の穴を掘ります。球根の根を拡げるように置き、覆土を掛けます。その際、地表にあった落ち葉等が混入しないように注意します。

④さらに注意することは、埋め戻した所が、窪んで雨水の溜まり場所にならないように、覆土を盛りあげます。

＊　＊

この作業が終わると来春3月下旬までは、そのまま芽吹きを待ちます。

12月は、袋掛けしておいた蒴(種)を採取し育成保存します。ヤマユリの植栽作業は、3月から12月までの10ヶ月です。

万福寺おやしろ公園

▲6月　つる草等の除去

▲10月　下草刈り

下麻生まつのき緑地

▲深さ20cm程度に球根を植え付け　▲目印付の支柱

◆ヤマユリの鉢植え育成のポイント

〈植え付け方〉＊鉢の大きさは、8号鉢程度で、左の図①のように底に多数の穴があるもの。

＊用土は通気性を良くするために、軽石、赤玉土、腐葉土を用います。球根の深さは球根3つ分を目安します。

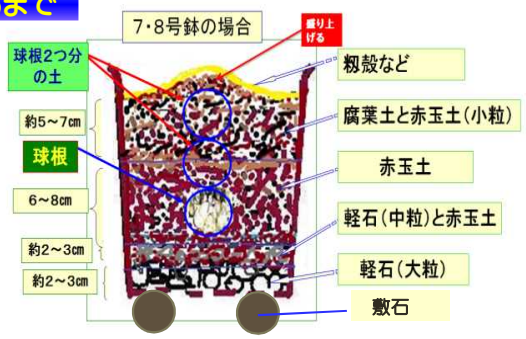
〈管理の仕方〉＊鉢の置き場所は、日差しを避ける木陰が最適。長時間の夏日晒しは厳禁。敷石の上に置くことも重要。

＊水やりは、鉢の表面が乾いたらたっぷりやる。しかし、やり過ぎは、根腐れを起こします。肥料は不要です。

＊アブラムシ駆除のタイミングは、左の生育写真を参照。

ヤマユリが開花するまで

▲②3月下旬から4月上旬　芽吹き



▲①ヤマユリの鉢仕立て・断面図

種まきは9月末、球根は11月

9月末、一年越しの種の播種

〈種の育成保存法〉

◆種500粒とバーミキュライト300cc程度を、密閉できるビニール袋に入れて混ぜ合わせ、その後、水150ccに殺菌剤ベンレート液剤2㌘を溶かした溶液を入れ、雨水等が入らないように密閉します（左写真）。

◆これを庭の木陰などで冬の寒さと夏の暑さに晒します。この経過によって種に発芽を促すスイッチが入るのです。

▲種の育成保存袋

〈種まきの仕方〉

◆底に多数の穴があるプランターが最適。

鉢底石を敷き、その上に赤玉土と腐葉土を1対1の割合で混ぜてまき土を整えます。その上に育成保存した種をまき、バーミキュライト・赤玉土・川砂を混ぜた覆土を掛ける。

▲種まき仕立て

麻生ヤマユリ植栽普及会 奨励賞を受賞

▲奨励賞楯

去る7月1日、川崎市制90周年記念式典が、ミューザ川崎シンフォニーホールで開催され、その記念表彰式において、当会が奨励賞を受賞いたしました。

先輩諸氏の想いを受け継いで8年。区の花に制定されども、「麻生区にヤマユリ再生」は、道半ば、今後に向けての叱咤激励と受け止めさせていただきました。

関係各位のこれまでのご支援に感謝申し上げると共に今後のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

8月下旬から9月上旬は、蒴の食害を防ぐ袋かけ

岡上梨子ノ木緑地

▲健康に実った蒴

▲虫の食害避けの袋掛け

◆当会では、ヤマユリの球根を、研究家から譲り受けていますが、高価で入手が困難ため、種をプランターで育ててから小球根を緑地に戻す方法も進めています。

とはいっても種から1輪の花を付けるまでに5、6年。まして3，4輪の花を付けるまでには7、8年を要します。

◆球根の育成地を持たない当会では、種をプランターで3、4年間育成しビー玉程度に生育したものを植え付けています。今年は、ようやく2、3輪を付ける株も育ってきました。

◆晩秋には蒴（種）が実り、次の世代の育成に向けて蒴の採取を行っています。

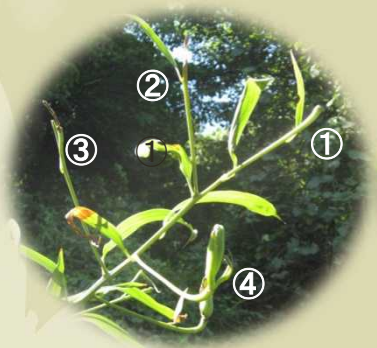
緑地では、ヤマユリのひとつ蒴の中から種（300～400粒）が、風に乗って飛散したとしても、1％も生育しないと言われているからです。

◆健康な種を採取するために、遅くても9月初旬には、種の実入りの良い蒴を選別して、食害予防の袋かけ作業（左上写真）を行います。

左端の写真①～④は、花は咲いても実の付けない花柄で、その右の写真は、蒴の生育期に食害されたものです。

今年は、100以上開花したこの緑地でも30蒴程度の袋かけに終わりました。

◆晩秋に蒴を採取し、その種を選別・殺菌して来年初秋の種まきシーズンまで育成保存します。



▲①～④蒴を付けなかった花柄

▲虫に食害された蒴

▲⑦7月初旬　開花、3,4日後、花弁が萎んだら花柄を切り取る

▲⑥6月下旬　白い蕾が透き通ると開花する

▲⑤6月中旬　アブラムシ避けの薬剤散布

▲④5月末頃　アブラムシ避けの薬剤散布

▲③4月中旬ごろ　アブラムシ避けの薬剤散布

7～9月普及活動便り！

今年も、芳しく美しい開花に出会えました！

▲ 区役所植え込み

▲区役所ロビーでの展示

1年間の労をねぎらうヤマユリの開花散策！

今年は、異常気象で、数十年ぶりの大雪、さらに初夏から酷暑が続き、万福寺、王禅寺、岡上の各植栽地とも保全活動のスケジュールが混乱しました。が、見事に開花期を迎え、各植栽地での散策会を行いました。

また、区役所のロビーではパネルと鉢植えヤマユリの展示、庭の植え込みにも20鉢展示。

さらに、片平の個人宅から、6月中旬、「庭に自生ヤマユリが開花したよ」とのご案内を受けて、疑心暗鬼で訪問しました。

咲き乱れる自生ヤマユリ見事さに感動しました。ご主人の話では、毎年この時節に開花するとか。

一方、6月始めに当会の広報紙などで、植栽地の開花情報をまとめて紹介して、ヤマユリの写真作品の応募を呼びかけました。

9月8日より、区役所のロビーで、盛大な写真展を催すことができました（下記参照）。

▲王禅寺すぎのき緑地

▲岡上梨子ノ木緑地

第2回 麻生ヤマユリ写真展

入選作 「自生ヤマユリ　躍動」

入選作 「小　路」

入選作 「もうすぐ開花」

8月14日、区民のみなさんからご応募いただいた作品（総計80点）の審査会を開きました。

作品は、区内の各地域の特色や作者の思い入れのある力作ばかりで、評価委員を悩ます選考となりました。

一次審査で、10作品を選定、引き続き二次審査で入選作品6点を決めました。

さらに、その中から最高評価を獲得した1点が特選となりました。

特に、自生ヤマユリの花自身の美しさもさることながら、里山の雰囲気のある作品が高い評価を得ました。

9月8日～19日まで、麻生区役所のロビーで公開展示を行い、初日の8日には、入選者出席の下、表彰式が行われるなど、この期間、多数の方々の好評を博しました。

≪特選≫
「堂の主役」　安藤　敬

≪入選≫
「もうすぐ開花」　川村　一
「小　路」　阿閉　恒道
「自生ヤマユリ　躍動」　藤田　康郎
「小学生が育てたヤマユリ」　東川　孝子
「朝の彩り」　中山　正毅

▲写真展の準備作業

会員募集中

地域ボランティアのみなさんと一緒に麻生区の花「ヤマユリ」に親しみながら緑地で汗を流してみませんか。

定例会議：原則、毎月第２木曜日　午後（１月は第３木）
会　場：交流館　やまゆり
植栽活動：指定の各緑地（月に1回～2回）
★問合せ・連絡先：当会会長（事務局）貞本　勉
TEL：０９０－７１７５－４９９５
E-mail：tsutomu.sadamoto@nifty.com

行事予定　１０～１２月の主な予定

１０月：ヤマユリ植栽地下草刈り・球根植え付けの準備
１１月２３日：　ヤマユリ鉢植え講習会（区役所）
１１月～１２月　ヤマユリ植栽活動（６か所）